

ASANO Cup

in Komono

菰野町 70 周年を記念し、町出身のプロサッカー選手である浅野拓磨選手（サンフレッチェ広島所属）の発案による「ASANO CUP 2026 in Komono」を6月20日、21日の2日間開催しました。地域活性化とスポーツ振興を目的に、湯の山温泉や菰野町観光協会などと連携。スポーツと観光をつなぐ、菰野町ならではの大会となりました。大会には石川県や静岡県からもチームが参加し、大羽根サッカー場と菰野西競技場を舞台に「U-11の部」と「U-14の部」の2部門で熱戦が繰り広げられました。



ASANO CUP 2026
in KOMONO

主催：ASANOCUP実行委員会（構成団体：ペルナサッカークラブ、（一社）菰野町観光協会、菰野町、（特非）菰野町スポーツ・文化振興会、菰野町スポーツ協会）
協力：菰野町スポーツ少年団、湯の山温泉協会、西日市中央工業高校サッカー部 後援：中日新聞社、関シー・ディー・ワイ 協賛：株式会社 明治（一社）菰野町観光協会

U-14・U-11

開会式には浅野選手が登場し、子どもたちにエールを送りました

ワールドカップ
僕は今回のW杯に向けて、全力で準備してきました。前回大会ではゴールを決めることができたが、W杯に向けて人生をかけて挑んでも夢は叶いませんでした。でも、だからといってこれで終わりではありません。皆さんの中には、夢を持っている人も、まだ見つかっていない人もいます。でも、とにかく自分の夢に向かって全力で頑張りたいです。そして、そのスタートはいつだって「今日」です。今日全力でやらなければ、明日できない。明日やらなければ、その次の日も、1年後も、10年後も、全力でできなくなってしまう。だから、夢に向かって今日から全力で頑張ってください。僕も皆さんに負けないように、僕の夢に向かって全力で頑張ります。



大会結果
【U-11の部（参加8チーム）】
優勝 SLA
【U-14の部（参加6チーム）】
優勝 PERNA SC

INTERVIEW

浅野選手も小学生の頃に在籍していた、菰野町を拠点に活動する「ペルナサッカークラブ」。チームに所属する2名の選手に【U-14の部】で優勝を飾った感想を聞きました。

FW17

いわお きりゅう
岩尾希龍（八風中2年）

目指すは「第二の浅野選手」

決勝戦では焦る場面もありましたが、チームで連携して勝つことができ、嬉しかったです。決勝点を決めることができたのも最高でした。浅野選手は憧れの存在で、僕の通った幼稚園、小学校の先輩でもあります。「第二の浅野選手」になればいいなと思います。今回の大会に臨んだので、優勝できて良かったです。



DF15

かんだる きあ
神田琉希亜（八風中2年）

「何事にも全力で」を大切に

僕のポジションの「サイドバック」は、チャンスメイクが重要な役割です。試合では、浅野選手が話していた「何事も全力でやる」を意識し、守備も攻撃も全力で走って、味方にボールを繋ぐことを意識しました。前回のW杯で得点をした浅野選手のように、大舞台上で活躍できるような選手になりたいです。

